

かがやく瞳

No. 10

じょうぶな体の子ども
ゆたかな心の子ども
のびのび遊ぶ子ども

発行日 令和2年2月7日
発行責任者 豊福 猛
編集 社会福祉法人
北見福祉会広報委員会
〒090-0835 北見市光西町 178-5
TEL 0157-57-5057
FAX 0157-57-4767

はだし 泥んこ 水遊び 雪遊び

「何に対しても興味関心を持ち、自分の考えでのびのび遊び行動することも」

これは、北見福祉会が目指す子ども像の『のびのび遊ぶ子ども』を説明した文です。子どもの健やかな成長のためには「遊び」が大切であり、その遊びを通して心やからだが増えていきます。

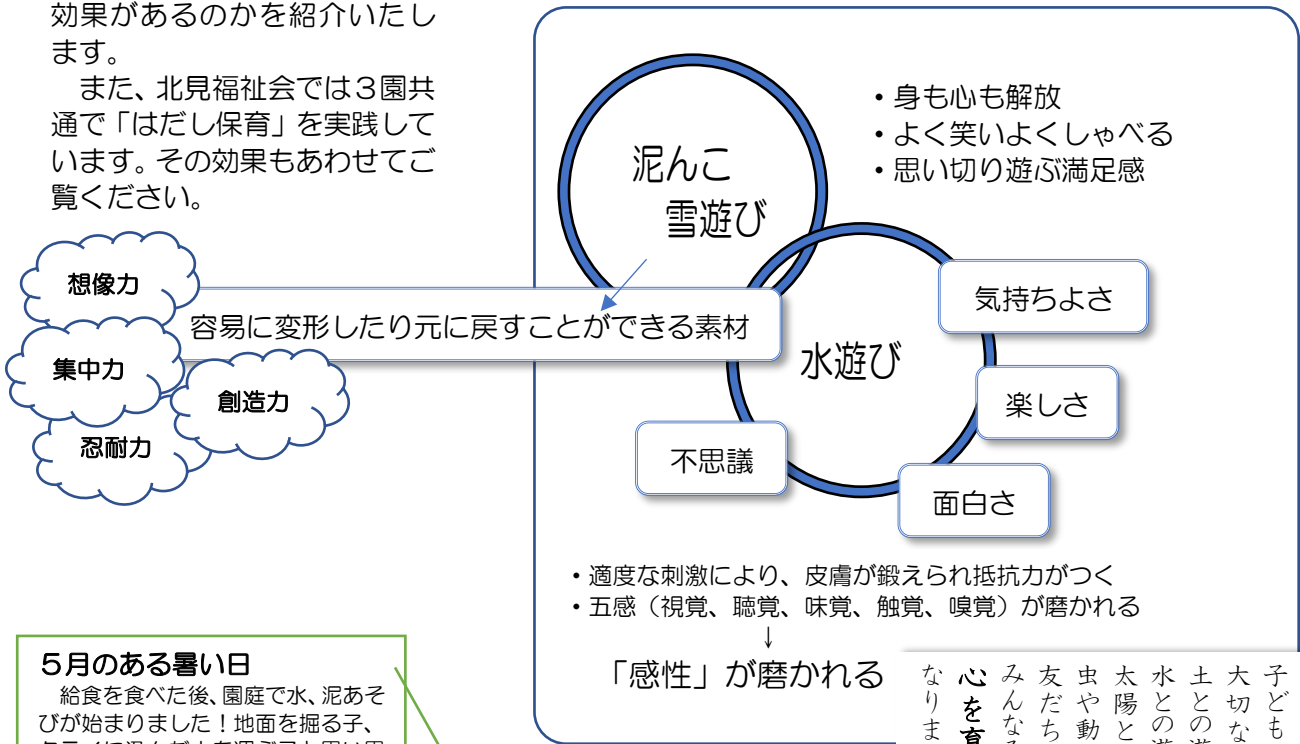
今回は、遊びの中でも、「泥んこ遊び」「水遊び」「雪遊び」等の活動がなぜ良いのか、どんな効果があるのかを紹介いたします。

また、北見福祉会では3園共通で「はだし保育」を実践しています。その効果もあわせてご覧ください。



ある夏の日、4歳児クラスの子もたちが砂場に水を出して遊んでいるところ。初めは砂を掘って水を溜め、湖を作っていました。その周りに山を作ってトンネルを掘ったり、川を作って湖につながれたり、イメージを広げながら遊ぶ姿が見られました。コップやお椀に水を汲み、川に流してみると、あっという間に砂に吸収されてうまくいきません。助っ人を呼んでみたりもう少し砂を掘ってみたりと試行錯誤をした結果、最終的にもっとたくさんの水が必要と、保育教諭が持っていたホースを借りにきました。ホースから勢いよく水が流れると、子どもたちのイメージ通り湖とつながり、大満足の子もたちでした。

(夕陽ヶ丘認定こども園)



5月のある暑い日

給食を食べた後、園庭で水、泥あそびが始まりました！地面を掘る子、タライに汲んだ水を運ぶ子と思いに夢中になってあそんでいます。

大きな“海？”（水たまり）ができ、その中に裸足で入るのがまた気持ちいい！裸足の裏でドロドロの感触をしっかりと感じながらの楽しい食後のひとときでした。

(光西認定こども園)



子どもにとって大切な生活は土との遊び、砂との遊び、水との遊び、植物との遊び、太陽との遊び、虫や動物との遊び、友だちとの遊び、みんなみんな心を育てる栄養になります。

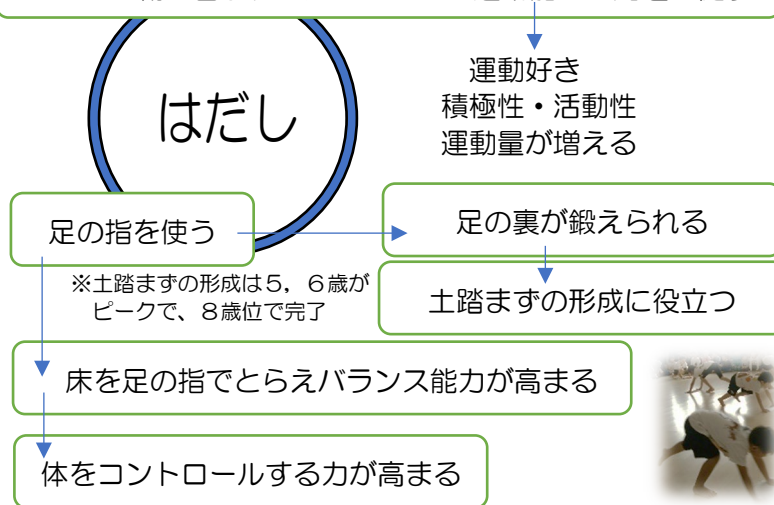


ある日の砂場での事

1人の子が山作りを始めると、いつの間にか沢山の子もたちが集まりました。大きな山が完成すると、回りに出来た溝を見て「道路だ〜!」。次は道路作りが始まり、どんどん長く伸ばし始めました。その溝に水を流すと、「すごい!川みたいだね〜!」と大歓声!山が崩れると「もう1回!」と繰り返し遊びを楽しみました。みんなで協力して遊ぶ面白さを体験できた砂遊びになりました。
(みなみ認定こども園)



はだしは靴に包まれた足を自由にし運動能力の発達を促す



はだしの効果

近頃、いわゆる扁平足の子どもが増えてきていると言われています。ご存知のように土踏まずが形成されていない状況のことですが、土踏まずは裸足で生活することによって左記のように形成されやすく、良い効果が期待できます。

また、足裏には沢山のツボがありバランスをとるセンサーがあると言われています。裸足で歩くことにより足裏が刺激され、五感の発達にも良い影響があると言われています。



先生たちも頑張っています (職員研修の様子)

北見福祉には3園で約100名の職員が在籍しています。職種は、保育教諭(幼稚園教諭免許+保育士資格)、保育士、看護師、支援員、助手、栄養士、調理員、用務員、事務員と様々ですが、日々子どもたちの健やかな成長を願って仕事をしています。

特に、直接関わる先生たちに研修は不可欠です。よりよい教育・保育のため、個々のスキルアップを目指して「3園合同研修」(夜間)や北海道保育協議会や私立保育園連盟が主催する研修(休日)等に参加しています。

また、この他にも平日に行われる「子どもの発達」「虐待」「感染症予防」等の研修にも交替で参加しています。



北海道保育協議会キャリアアップ研修
(北見工業大学)



3園合同研修(光西認定こども園ホール)

3園合同研修内容(令和元年度)

5/23 「主体的・対話的で深い学びと非認知能力の育成」
(内部講師)

10/16 「セルフコンディショニング」(外部講師)

12/19 「園内事故ゼロへ」(DVD研修)